

乾^{ほし}しいたけ 原木栽培

私たちにとって身近な、国東市を代表する農産物「乾しいたけ」。国東半島では、クヌギの木を使った乾しいたけの原木栽培が盛んに行われてきた。

原木栽培は、自然界と同じ原理でしいたけを育てる栽培方法だ。農薬も肥料も、一切使わない。原木となるクヌギの木は、伐採しても切り株から芽が生え、10〜15年ほどで再生する。自然の恵みを生かした農業、それが乾しいたけの原木栽培である。

そんな原木栽培も、近年は勢いを失いつつある。

今回の特集は、乾しいたけの原木栽培。この農業を、未来へつなぐために――。原木栽培を取り巻く状況や生産者の思い、今後に向けた関係者の取り組みなどを紹介する。

